

令和7年度 学校評価

令和8年3月

長崎大学教育学部附属中学校

目次

1 学校経営方針	1
2 内容		
(1) 学習指導	2
(2) 特別活動	4
(3) 人権教育	6
(4) 挑戦の機会	8
(5) 管理・運営	14
(6) 総合評価	15
(7) 学校評議員による評価	16

【基本方針】

光と力と望みと			
校訓	光のさすところは、明るく、そして温かい	力は、自らの人生を切り開く心身の根源力である	望みは、人生の夢であり目標である
	我が附属中学校が、明るく温かい学校であるために、共に学ぶ生徒が互いに人間として尊重し合う心、全体の秩序を保つための規則を大切にすることを育てる。	人生をたくましく生き抜くために、真理と虚偽を見抜く知力、善を実践し、悪を克服する意志力、いかなる艱難辛苦にも耐えきる体力を養う。	かけがえのない生涯に高い望みを持って、自らの夢と目標を実現しようとする高い志と積極的な態度とを培う。
学校教育目標	尊重	自主	創造
	人間として尊重し、共に高め合う	強靱な意志と体力を養い、自ら進んで事に当たる	知性と情操を陶冶し、豊かな個性の創造に努める
校歌から	若きひとみは雲高く まことの道を求め行く	若き血潮はたぎりつつ 学びの道を進み行く	若き心は夢清く 自由の翼はばたかん
基本姿勢	附属中学校を「一人一人がよりよく成長する場」とするために		
	① 自他共に各々の特長を理解し、多様でかけがえのない仲間を思い合い、温かく包み込む集団を作る。	② 様々な機会に、主体的に学ぶ力や意志力、体力、折り合いをつける力、心の柔軟性を高める。	③ 各々の特長を発揮し呼応し合って新たな価値を創り出すとともに、夢や目標の実現に邁進する。

(1) 学校・学年・学級経営、教科経営、分掌経営、生徒指導、生徒会活動指導、部活動経営等の全教育活動及び教育実習生の指導、自己の研鑽に対して、**基本姿勢**で臨む。

(2) 生徒が意見を表明する場を保障し、その意見を尊重しながら、授業や学校生活、学校行事等において、生徒を主語にした活動を仕組み、生徒主体の活動を展開する。

一人一人が輝く附中6か条

- ① 向上心をもって行動する
- ② 挑戦し続ける
- ③ 自分の意見を発信する
- ④ 他を認める
- ⑤ 互いに協力する
- ⑥ 笑顔の輪を広げる R2 生徒決定

附中 PRIDE

- ふ 普段から品性ある行動をとる
- ちゅ 注意し合える関係をつくる
- う 受け身にならない
- せ 全力で取り組む
- い 居心地の良い雰囲気をつくる R6 生徒決定

(3) これまで大切にしてきた理想とする附中生や学校の姿も指針として堅持する。

- 真面目であることが大切にされる心地よさがある学校
- 附中生は笑顔が一番
- 優しさやさわやかさ溢れる学校
- 品性漂う附中生^{〔注〕}
- 寄り添う学校
- 附中の授業は生徒が創る

〔注〕「品性漂う」とは、「意欲と向上心漲り、常に自らを律し、謙虚で潔く、他者への思いやり溢れる」状態であり、その姿は「凜とした眼差しで目標を見据え、節度ある言動で力強く歩み、互いを認め、伸び合う附中生」である。

1 学習指導

【取組】

○学習指導要領に示された資質・能力を育成するために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を実践する。

○研究主題「豊かな人生を切り拓き、未来の創り手となる生徒の育成 ～メタ認知を働かせる学びの追究～」の下で、特に「自ら学びに向かう力（自己学習力、自己の学びを調整する力、新しいことに挑戦する意欲、失敗から学ぶ姿勢、他者との協力等）」を育成する実践研究に取り組む。

○総合的な学習の時間において、地域の課題を掘り起こし、解決に向かう方策を探究して、積極的に地域へ提言する活動を充実させる。



【評価】

○全国学力・学習状況調査及び長崎県学力調査結果

中3	国語	全国平均正答率を上回る
中3	数学	全国平均正答率を上回る
中3	理科	全国IRTスコアを上回る
中3	英語	全国平均正答率を上回る
中2	国語	全国平均正答率を上回る
中2	数学	全国平均正答率を上回る

〔質問紙調査〕

設問 70 「理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか。」 94.2% (全国 68.4%)

設問 16 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」 84.0% (全国 77.6%)

設問 27 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」 82.5% (全国 75.2%)

○学校評価生徒向けアンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

質問 15	教科の学びは社会に出て役に立つと思う	9教科中央値 89% (51～96%)
質問 16	教科の学びは自分にとって必要だと思う	9教科中央値 94% (71～96%)
質問 17	教科の学びに面白さや魅力を感じている	9教科中央値 87% (81～93%)

質問 05 「あなたは、学習面での自分の現状を正しく理解し、自分に合う学び方になるよう工夫していますか。」 89% (保護者：70%)

「先生方は、学習面でのあなたの現状理解や、あなたに合う学び方について、助言していると思いますか。」 86%

質問 06 「あなたは、予習、復習、興味があることの探究など、家庭での学習習慣が身に付いていますか。」 86% 《前年度比+5》 (保護者：63% 《▲11》)

「先生方は、あなたが家庭での学習習慣を身に付けるための指導をしていると思いますか。」 76%

令和7年度研究概要

1. 研究内容

研究主題：豊かな人生を切り拓き、未来の創り手となる生徒の育成
研究副主題：メタ認知を働かせる学びの追究

2. 教育研究協議会

- (1) 期日：「夏」 令和7年6月20日(金) 「冬」 令和8年2月10日(火)
(2) 目的：①研究協議会を開催し、本校の研究内容を提案し、検証する。
②参会者と本校職員が共通のテーマで語り合い、共に学びを深める。
(今年度のテーマ：生徒が主体的に学ぶためには?)
(3) 公開授業：「夏」 5本〔国語、社会、理科、家庭〕
「冬」 6本〔数学、社会、理科、音楽、保体、英語〕
(4) 参会者数 (R6・R7は、「夏」と「冬」の合計人数)

	R3	R4	R5	R6	R7
参会者数	76	46	172	199	280
内、県外参会者数	25		53	21	40

※R7「夏」は、岩手大学教育学部 准教授久坂哲也氏による教育講演会を実施。

3. 長崎附属中 出前研修（令和4年度から実施）

- (1) 目的
長崎大学教育学部は、行政や関係機関との連携に重点を置いて、児童・生徒・保護者及び教員の抱える問題に関する学校教育・社会教育に関連した、出前授業・講演・指導助言・教育相談等、問題解決のための支援活動を行っている。そこで、附属中学校は、県内の先生方と繋がり、地域に貢献したいと考え、先生方のニーズに合わせて、本校の教員が研修をサポートすることで、地域教育の振興を図る。
- (2) 各コース
「光」：各種研修会へのサポートや講師（評価研修、校内研修や研究について 等）
「力」：出前授業や授業提案のサポート（飛び込み授業、授業提案 等）
「望」：経験年数及び学校に応じた研修（授業参観、授業づくりサポート 等）
- (3) 今年度の実績：実施件数 20件、総受講者数 166名（2月19日現在）

コース	件数	依頼校等
「光」 「力」	10件	南有馬中、小値賀中、加津佐中、時津中、富の原小、長崎中 等
「望」	10件	沖縄県教育庁国頭教育事務所、佐須奈中、黒島中、魚目中 壱岐市教育委員会、佐世保市教育センター 等

4. 次年度研究の方向性

- 「メタ認知を働かせる学びの追究」が、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に資することを明らかにし、本研究の価値を改めて発信する。
- 県教委、県センター、市町教委、大学等との連携を一層深め、「開かれた附属中」を目指すとともに、県内外の中学校とのつながりを増やし、公教育の研究拠点校としての役割を果たしながら、「求められる附属中」を追求する。

2 特別活動

【取組】

- 生徒が意見を表明する場を保障し、その意見を尊重しながら、日々の係活動や学級活動、学校生活、学校行事等において、生徒を主語にした活動を仕組み、生徒主体の活動を展開する。



【評価】

- 学校評価生徒向けアンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

質問 07 「あなたは、実行部活動や生徒会活動を自分事と考えて取り組んでいますか。」
97% 《前年度比+14》

「本校の生徒会活動によって、お子様は自治の力や社会性が育っていると思いますか。」
(保護者：82% 《▲6》)

〔前年度質問〕 実行部委員会等の生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。

質問 08 「あなたは、附中祭「春」「秋」などの学校行事を自分たちで創り上げたという実感がありますか。」
93% 《前年度比▲2》

「お子様は、本校の学校行事を楽しみ、これによりお子様の創造性や主体性が育っていると思いますか。」
(保護者：93% 《▲3》)

〔前年度質問〕 学校行事に仲間と協力して、積極的に取り組んでいる。

質問 09 「あなたは、校内外で、学校や社会のきまりやマナーを守っていますか。」
96% 《前年度比+6》 (保護者：96% 《▲3》)

「附中生は、校内外で、学校や社会のきまりやマナーを守っていると思いますか。」
73%

〔前年度質問〕 生徒心得を守り、心身ともに健康で安全な生活を心がけている。

質問 10 「あなたは、掃除や片付けを行い、学習環境を美しく整えることに努めていますか。」
94% 《前年度比+25》 (保護者：96% 《▲3》)

「附中生は、掃除や片付けを行い、学習環境を美しく整えることに努めていると思いますか。」
89%

〔前年度質問〕 学校は、清掃が行き届き、清潔である。

3 人権教育

【取組】

- 仲間全員が互いの特長やかけがえのない存在であることを認識し、温かく包み込み、安心して過ごすことができる学年・学級集団を作る。
- 活動後や過程において、生徒の成長を具体的に評価し、共有する。達成したことだけがよい評価に値するのではなく、個々の生徒の成長を認める姿勢で臨む。
- 人権教育推進プランに沿って、計画的かつ日常的に人権意識の醸成に努める。

【評価】

○学校評価生徒向けアンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

質問 02 「あなたは、互いのよさや持ち味を理解し、仲間や自分を大切に思っていますか。」 **97%**（保護者：**97%**）

「附中生は、互いのよさや持ち味を理解し、仲間や自分を大切に思っていると思いますか。」 **93%**

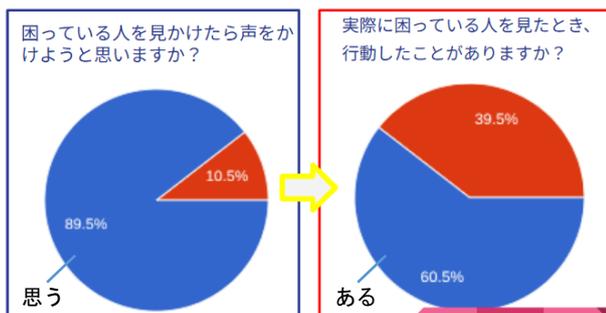
質問 03 「あなたは、相手を大切にすることにつながる挨拶や場に応じた言葉遣いができていますか。」 **92%**《前年度比+1》（保護者：**94%**《+2》）

「附中生は、相手を大切にすることにつながる挨拶や場に応じた言葉遣いができていると思いますか。」 **84%**

〔前年度質問〕挨拶、場や相手に応じた言葉遣いを正しく身につけている。

質問 04 「学校は、いじめ防止対策基本方針に従って、未然防止、早期発見に努め、発見したときにきちんと対応していると思いますか。」 **83%**（保護者：**75%**）

○いじめ撲滅を目指す「チーム絆」（構成員は生徒）による生徒集会



ながさき平和の日

長崎は今年、被爆80年目の夏を迎えました。今年も各学級から2名の平和推進委員を選出し、次の取組を行ってきました。

- (全学級)
 ・平和への意識を高めるための道徳(6月27日)
 ・平和に関するDVD視聴(7月2日)
 ・高校生平和大使(緑*経)による講演(7月15日)
 (平和推進委員)
 ・平和宣言文の起草
 ・平和集会の準備、リハーサル
 ・第4回原爆殉難教え子と教師の慰霊式への参列(8月1日)
 (生徒企画部)
 ・平和祈念式典への参列(8月9日)

今日の平和集会は、暑さを回避するためオンラインで行いました。平和推進委員長 小島居慶さん(3-1)のあいさつに続いて、平和推進委員が下平作江さん(当時10歳)の「被爆者の訴え」の朗読を行った後、絵本『わたしの『やめて』』を読み聞かせました。次に、各学年を代表して、1年2組の高島健さん、2年3組の塚本実花さん、3年1組の首藤杏さんが平和学習を振り返り考えたことを発表しました。最後に、平和宣言文を全校生徒で高らかに読み上げた後、平和式典の中継に合わせ黙祷を捧げ、平和推進委員長 波多野奈那さん(3-4)の挨拶で集会を締めくくりました。

今日の集会を通して、戦争の悲惨さを再認識する中で、自他の生命を尊重し、恒久平和を願う思いを一層強くしたことでしょう。被爆者の平均年齢は87歳を超えます。私たちは長崎に生きる者として、被爆の実相について更に学びを深め、この事実を次代へと継承する責任があります。

【各学年代表のこぼ(要旨)】

<p>1年 高島 健さん 今もウクライナ侵攻やアフガニスタン紛争など、多くの戦争が起きています。今回の平和学習を通して、戦争をなくし、平和な世界をつくるためには、何をすればよいかと考えました。</p> <p>まずは、身近な争いをなくすことです。そして、戦争の恐ろしさや平和の大切さを伝えることです。さらに、差別をなくすことも大切です。</p> <p>被爆当時、悲惨な状況下でも、長崎の人々は助け合って、生きることをあきらめませんでした。</p>	<p>2年 塚本 実花さん 戦時中、人間魚雷「回天」という恐ろしい兵器が存在したことを知りました。魚雷に人間が乗り込み、敵艦に体当たり攻撃をする特攻兵器です。脱出装置はなく、一度発進すると、生きて還ることはできません。</p> <p>元特攻隊員の一人は、「平和は空気ではない。みんなの努力でつくるもの。」と語りました。今ある当たり前の日常は、多くの犠牲とたゆまぬ努力の上に成り立っているのだと、気づかされました。</p>	<p>3年 首藤 杏さん 以前暮らしていた宮崎県では、平和について、自分事として考えたことはありませんでした。</p> <p>長崎で「長崎論最後の被爆地」ということばと出会い、原爆や戦争の悲惨さについて深く考えるようになりました。</p> <p>意見の違いを尊重し合うことが平和的解決につながると思っています。県外にも意見を発信し、長崎に住む者としての使命を果たしていきたいです。</p>
--	--	--



平和学習を通して考えたことは? ~戦後の年を振り返り~

特別支援学校生徒との交流

11月18日(火)、附属特別支援学校の生徒が来校し、1年生と交流学習を行いました。

美術では、自分の手を思い思いに表現しました。グループに分かれて、クレヨンや絵の具の色材を使い、ローラーやブラシ、マスキングを用いて自由な表現を楽しみました。最後に各々が作った手を模造紙に貼り、一つの作品を創り上げることで、一人一人の個性を引き立たせながらも一体感のある作品が完成しました。



美術で制作した「手」

音楽では、「指の流れに乗って歌おう」をめあてに、「アルプス一万尺」「みかんの花咲く丘」の手遊びや「赤とんぼ」の指唄、ディズニーソングや「翼をください」の歌唱に取り組みました。「翼をください」では、パートに分かれて練習した後、全員で混声3部合唱をしました。

授業後は体育館で輪になって昼食をとり、レクリエーションを行って、楽しい時間を過ごしながら交流を深めました。

PTCCで命の尊さについて考えました

今年も正門にある風船の碑の前に、カーネーションが献けられました。本校の社会科の教員だった故田中啓司先生が大好きだった花です。田中先生は19年前の平成18年11月20日、御自宅で突然倒れ、帰らぬ人となりました。

田中先生は生前、命の尊さ、いじめは絶対に許さないことなどを生徒に説いていらっしゃいました。先生の思いは、当時の生徒たちを動かし、その年の生徒総会の特別議題として「いじめを許さない、命を大切に」する学校づくりが取り上げられました。そして、11月20日を「附中人権の日」と定め、思いやりや命の大切さを考える日とすること、田中先生の遺訓「風船の詩」を刻んだ石碑を設置し、附中のシンボルとすることが決まりました。完成した風船の碑には、「風船」の詩が、田中先生が大好きだったカーネーションの花とともに刻まれています。また、「生徒が太陽なら、教師は暗い夜道を優しく照らすお月様だ」という先生の思いがあり、太陽と月がデザインされています。命には限りがあります。だからこそ、自分の命も周りの人の命も大切にしなければなりません。そして、田中先生の願いのように、それぞれの命を惜一杯輝かせながら、自分らしく充実した人生を送ってほしいと思っています。

風船

風船は私たちの命に似ているね
 うれしいとふくらみ 悲しいとしばむ
 それをくり返して大きくなるんだね
 風船のようにふとしたことで
 命が消えたりしないように
 自分と仲間の命を
 強く大きくふくらませていこうね
 (田中啓司先生遺訓)

今年のPTCCでは、1年生は、学年全体で絵本「葉っぱのフレディ」を読んで、命について考えました。2年生は、戦場において助かる見込みの少ない少年の饑餓を本を外した医師の判断の是非を、3年生では、臓器提供の意思表示をしている子どもの家族の承諾・非承諾を、それぞれ考えました。どの学年も、仲間の意見を傾聴し、真剣に深く考えている姿が印象的でした。

また、保護者の皆様には、教養講座として、長崎大学の岩永竜一郎先生による「発達特性とその生かす方・受け止め方について」の御講演と、スクールカウンセラーの山田喜典先生によるミニアクティビティに参加していただきました。岩永先生の御講演では、できていないことばかりに注目する大人の特性を理解(自戒)し、子どもの望ましい行動を行動表現でたくさんほめることなど、具体的な子育ての工夫について多くの御示唆をいただきました。山田先生には、家庭ですぐに取り入れられるアドジャン(コミュニケーションの方法)などを教えていただき、参加者皆が楽しい時間を過ごしました。

「P(保護者)とT(教師)、C(子ども)、そしてC(カウンセラー)、コミュニケーション」が手を取り合って、子どもたちの健全な教育環境の整備充実に向けて努力する」というPTCC活動の目的と、「附中人権の日」に込められた多くの人の思いやこの日の意義が、これからも風化することなく受け継がれていくことを心から願っています。

(裏面に続きます)

【長崎大学教育学部附属中学校 人権教育推進プラン】

月	全教職員/生徒テーマ	生徒の意識改善や活動事項	教職員の意識改善や活動事項	学校行事
4	一人一人を大切にしたい出会い	【人権記録シート】の記入① 互いを知る学級掲示物の作成	職務の「開き合い・認め合い」	入学式・始業式
5	人の温かさを実感できる学校・学級	行事を通した互いの良さの認め合い	行事を通した生徒の育成 安心して過ごせる学校・教室環境作り	附中祭「春」
6	共感的な人間関係の構築	アサーションの実践	効果的なアサーション実践 教職員の働き方見直し(休憩時間)	前期考査 研究協議会「夏」
7	「学びに向かう力」の向上	学習成果物の校内掲示	生徒の規範意識の振り返り 平和を希求する態度の育成	オープンスクール
8	私が私であるために・あなたがあなたでいられるために	平和な社会実現のための見聞を広げる	平和を希求する態度の育成	ながさき平和の日
9	互いに高めあう集団づくり	自己指導能力の育成	実習生指導に対する意識改善	教育実習
10	個性の発見、良さや可能性の伸長	行事を通しての互いの良さの認め合い	行事を通した生徒の育成 安心して過ごせる学校・教室環境作り	附中祭「秋」
11	いじめを許さない風土の醸成	いじめ撲滅	いじめ根絶のための生徒指導の充実	PTCC 附中人権の日
12	自己存在感の感受	チーム絆を中心とした人権意識の向上	身の回りの人権に関する意識改善	百日祭 人権集会
1	身近な人間関係の振り返り	安心して過ごせる教室・授業環境づくり	教室環境・言語環境に関する意識改善	本校入試
2	自己選択・決定する力の向上	自他の意見に耳を傾け、言葉に責任を持つ	生徒の声を取り入れた次年度行事の計画	後期考査 研究協議会「冬」
3	自分を大切に 周りの人を大切に	【人権記録シート】の記入② 自己の成長を実感できる振り返り	温もりのある卒業式の挙行次年度への改善点引継	卒業式 修了式

4 挑戦の機会

【取組】

- 授業や学校生活において、互いの個性を活かし合うことにとどまらず、活躍の場を校外に広げることを後押しする。

【評価】

- 学校評価生徒向けアンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

質問 11「あなたは、新たなことに挑戦していますか。」 81%

「学校は、生徒が新たなことに挑戦する機会を提供していると思いますか。」
86% （保護者：91%）

〈各種大会等の成績〉

◎駅伝

（市中総体）

（男子）優勝 ※1、5、6区：区間賞

（女子）優勝 ※2、3、4区：区間賞 4年連続男女ダブル優勝

（県中総体）

（女子）第3位（九州大会出場）

（新人大会）

（女子）第2位 ※2区：区間賞

◎コーラス

- 第25回全国中学校総合文化祭わかふじ大会出場

◎美術

- 第71回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」

絵画の部：長崎県知事賞：1名、造形教育研究会賞：1名、特選：6名

◎その他

- 第 47 回少年の主張 長崎県大会
優秀賞（長崎新聞社賞）：1名
- 第 75 回「社会を明るくする運動」中学・高校生弁論大会
長崎地区大会：最優秀賞・長崎地区推進委員会委員長賞（第 1 位）
長崎県大会：優秀賞・NHK 放送局長賞（第 2 位）
- 私の「夢・憧れ・志」作文コンクール
優秀賞（長崎県教育会理事長賞）：1名
審査員特別賞：1名
- 読書感想文コンクール長崎市審査
課題の部 優秀賞：2名
自由の部 優秀賞：1名
- 第 75 回全国小・中学校作文コンクール県審査
優秀賞：2名
佳作：4名
- 第 74 回長崎市民美術展（ジュニアの部）
書写の部 市長賞：1名、書作家協会賞：1名、国際文化協会賞：1名、
長崎市議会議長賞：1名
- 高円宮杯第 77 回全日本中学校英語弁論大会
長崎県大会：第 3 位
決勝大会（全国）：第 5 位
- JA 共済小・中学生 書道コンクール
半紙の部 佳作：1名
条幅の部 銅賞：3名、佳作：2名
- 長崎県統計グラフコンクール
第 4 部 特選：1名（全国入賞） 佳作：3名
第 5 部 特選：1名（全国入賞） 佳作：2名
- 第 69 回日本学生科学賞長崎県大会
最優秀賞：1名
優秀賞：2名
- 令和 7 年度 「科学の甲子園ジュニア」長崎県大会
優勝（全国大会出場）、第 2 位
- 長崎新聞 令和 7 年度「ジュニア歌壇」年間賞：1名

<令和7年度 部活動等の成績>

運動部

中総体関係

【市中総体】

◎陸上 ☆男女総合優勝、☆男子総合優勝、☆女子総合優勝

(男子)

- ・ 1年 100m : 第1位
- ・ 1年 400mR : 第1位
- ・ 2年 1500m : 第1位
- ・ 2年 100m : 第1位、第2位
- ・ 2年 400mR : 第1位
- ・ 3年 1500m : 第1位
- ・ 低学年 100mH : 第1位、第2位
- ・ 低学年 400mR : 第1位
- ・ 共通 400m : 第2位
- ・ 共通 800m : 第2位
- ・ 共通 110mH : 第1位
- ・ 共通 3000m : 第1位、第3位
- ・ 共通走幅跳 : 第2位
- ・ 共通三段跳 : 第2位
- ・ 共通砲丸投 : 第1位
- ・ 共通 400mR : 第3位

(女子)

- ・ 1年 800m : 第1位
- ・ 2年 100m : 第2位
- ・ 2年 400mR : 第1位
- ・ 3年 800m : 第2位、第3位
- ・ 低学年 80mH : 第1位、第3位
- ・ 共通 1500m : 第1位、第2位
- ・ 共通 100mH : 第1位、第2位
- ・ 共通走高跳 : 第1位
- ・ 共通走幅跳 : 第1位、第2位
- ・ 共通砲丸投 : 第1位
- ・ 共通 400mR : 第2位

◎硬式テニス

(男子)

個人ダブルス : 第3位

(女子)

団体 : 優勝 個人シングルス : 第3位 個人ダブルス : 準優勝、第3位

◎野球 準優勝

◎水泳 ・ 共通男子 200m 個人メドレー : 第1位 ・ 共通男子 400m 個人メドレー : 第2位

【県中総体】

◎陸上 男子総合第3位 女子総合優勝 ※2位までは、九州大会出場 (学年Rはなし)

(男子)

- ・ 1年 100m : 第6位
- ・ 1年 400mR : 第6位
- ・ 2年 100m : 第2位
- ・ 2年 400mR : 第1位
- ・ 共通 400m : 第5位
- ・ 共通 110mH : 第2位
- ・ 共通三段跳 : 第3位
- ・ 共通走幅跳 : 第3位
- ・ 共通砲丸投 : 第2位
- ・ 低学年 100mH : 第1位 (九州大会2位)、第2位
- ・ 低学年 400mR : 第1位 (九州大会2位)

(女子)

- ・ 1年 800m : 第 6 位
- ・ 2年 100m : 第 3 位
- ・ 2年 400mR : 第 1 位
- ・ 3年 800m : 第 4 位
- ・ 共通 100mH : 第 1 位 (九州大会 4 位)、第 5 位
- ・ 共通 1500m : 第 5 位、第 6 位
- ・ 共通砲丸投 : 第 2 位 (九州大会 4 位)
- ・ 共通走幅跳 : 第 2 位、第 4 位
- ・ 共通走高跳 : 第 1 位 (九州大会 3 位)
- ・ 低学年 80mH : 第 5 位
- ・ 共通 400mR : 第 2 位 (九州大会 6 位)

◎野球 第 3 位

◎水泳 共通男子 400m 個人メドレー : 第 3 位

◎硬式テニス (女子)

団体 : 優勝 (九州大会出場) 個人ダブルス : 優勝

その他の大会

◎陸上

○全日本中学校陸上競技選手権大会 女子四種競技 : 第 3 位

○通信陸上長崎県大会

(男子)

- ・ 1年 100m : 第 5 位
- ・ 2年 100m : 第 3 位、第 7 位
- ・ 共通 200m : 第 4 位
- ・ 共通 400m : 第 5 位
- ・ 共通 3000m : 第 5 位
- ・ 共通走高跳 : 第 5 位、第 7 位
- ・ 共通 110mH : 第 2 位、第 4 位
- ・ 共通走幅跳 : 第 4 位、第 7 位
- ・ 共通砲丸投 : 第 1 位

(女子)

- ・ 2年 100m : 第 6 位
- ・ 共通 800m : 第 5 位、第 6 位
- ・ 共通 1500m : 第 6 位
- ・ 共通走高跳 : 第 1 位
- ・ 共通 100mH : 第 3 位
- ・ 共通砲丸投 : 第 3 位
- ・ 共通四種 : 第 1 位
- ・ 共通走幅跳 : 第 3 位、第 5 位、第 7 位
- ・ 共通 400mR : 第 3 位

○JOC U-16 陸上競技大会県代表選考会

(男子)

- ・ 110mH : 第 2 位
- ・ 100m : 第 3 位
- ・ 砲丸投 : 第 1 位
- ・ 走幅跳 : 第 2 位

(女子)

- ・ 100m : 第 1 位
- ・ 走幅跳 : 第 2 位、第 3 位
- ・ ジャベリックスロー : 第 2 位

◎ソフトテニス (男子)

○第 28 回ヨネックス杯争奪長崎市総合選手権大会 (一般男子C) 優勝

○長崎市中学生春季選手権大会 第 3 位

◎野球

○第 43 回長崎市中学校軟式野球平井杯争奪大会 第 3 位

○第 38 回長崎市中学校軟式野球競技九電旗争奪大会 準優勝

新人大会

◎陸上 長崎県大会

(男子)

- ・ 1 年 100mH : 第 1 位 ・ 1 年走幅跳 : 第 4 位 ・ 1 年砲丸投 : 第 5 位
- ・ 2 年 100m : 第 1 位、第 2 位 ・ 2 年走幅跳 : 第 1 位
- ・ 共通 110mH : 第 1 位、第 2 位 ・ 共通 400mR : 第 1 位

(女子)

- ・ 2 年 100m : 第 5 位 ・ 2 年走幅跳 : 第 1 位、第 4 位
- ・ 共通 100mH : 第 4 位、第 8 位 ・ 共通 400mR : 第 1 位 ・ 共通走高跳 : 第 4 位

◎水泳 男子 200m 個人メドレー : 第 1 位 男子 100m 平泳ぎ : 第 2 位

◎卓球 男子団体 : 第 3 位 女子団体 : 第 3 位

◎硬式テニス (女子)

長崎市 団体 : 優勝 個人シングルス : 準優勝、第 3 位 個人ダブルス : 優勝
長崎県 団体 : 優勝 (九州大会出場)

◎ソフトテニス (男子) 長崎市 個人ダブルス : 第 3 位

◎バドミントン 男子シングルス : 第 3 位

文化部

◎吹奏楽

○第 70 回長崎県吹奏楽コンクール

県南地区大会 : 金賞 県大会 : 金賞 (県代表)

○第 70 回九州吹奏楽コンクール 銀賞

○第 31 回日本管楽合奏コンテスト予選審査会 中学生 B 部門 : 優秀賞

○第 51 回長崎県アンサンブルコンテスト : 金賞

◎コーラス

○第 80 回九州合唱コンクール長崎県大会 : 金賞 (県代表)

○第 80 回九州合唱コンクール : 銅賞

○第 92 回 NHK 全国学校音楽コンクール長崎県大会 : 銀賞

◎美術

○長崎県中学校総合文化祭 西彼・西海大会 絵画の部：1点、半紙の部：1点

【学校行事における美術部の制作品（一部）】



百日祭 体育館背面黒板



附中祭「春」テーマパネル

—その他—

○第47回全日本中学生 水の作文コンクール長崎県審査

長崎県審査 最優秀賞：1名

中央審査 優秀賞：1名（全日本中学校長会会長賞）

○第74回長崎市民美術展（ジュニアの部）

書写の部 市長賞：1名、書作家協会賞：1名、国際文化協会賞：1名、

長崎市議会議長賞：1名

5 管理・運営

【取組】

- Instagram を活用し、行事や学校生活の様子をできるだけ早く発信するとともに、学校だより「附中 NOW」に詳しく掲載し、定期的に伝える。
- 荒天時の登下校、臨時休業や感染症の状況等の情報は、安心安全メールにより、保護者へ確実に伝える。
- 主な学校施設・設備の改修・修理・整備
 - ・配管老朽化に伴うトイレの詰まり解消工事 済
 - ・雨漏り解消のための屋上防水工事 済
 - ・運動場及び排水 改修工事 3月完了予定
 - ・ピロティ更衣場所のカーテン設置済（福德不動産寄付）
 - ・全教室に、書画カメラ設置済（福德不動産寄付）
 - ・全普通教室に、大型モニター設置 3月上旬完了予定
 - ・体育館、武道場、木工室、金工室への空調機器設置予定（令和8年度予算措置）



Instagram



更衣用カーテン



書画カメラ



大型モニター（天吊り式）

【評価】学校評価生徒向けアンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

○広報、渉外

質問 01 「先生方は、全校集会や学年集会等で校訓や目標、生徒の成長を願う思いや考えを伝えていると思いますか。」
97% 《前年度比▲1》

「校訓や目標、教育方針、生徒の成長を願う本校の思いや考えは、育友会の場や附中 NOW、生徒への話などを通して、家庭へ伝わっていますか。」

（保護者：95%《+3》）

○安全確保

質問 12 「学校は、危険箇所に気を配り、安全確保に努めていると思いますか。」

93% 《前年度比+5》 （保護者：91%《+6》）

○施設・設備

質問 13 「学校の施設・設備は、充実していると思いますか。」

79% 《前年度比▲6》 （保護者：84%《±0》）

6 総合評価

○本校卒業生の進路状況及び第3学年生徒の進路希望状況

〔国公立〕

学校名	R 4	R 5	R 6
長崎東	1	3	5
長崎西	74	69	75
長崎南	5	3	0
長崎北	17	9	3
長崎北陽台	13	9	18
県内他公立	2	0	3
佐世保高専	1	5	3
県外国公立	1	2	0
合計	114	100	107

〔私立、その他〕

学校名	R 4	R 5	R 6
海星	2	9	6
長崎日大	3	9	8
青雲	4	1	2
純心女子	3	6	2
長崎南山	3	0	3
活水	6	5	0
県内他私立	3	5	4
県外私立他	3	7	8
合計	27	42	33

○本校入学者選抜実施状況

一般志願者数は毎年増加している。（令和8年度志願者数は令和4年度の1.48倍）

○学校評価アンケート結果（4件法で肯定的な回答の割合）

質問14「あなたは、附中で学ぶことで、日々成長しているという実感がありますか。」

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：分からない
生徒 92%

	A+B	A	B	C	D	E
全生徒	92%	52%	41%	6%	2%	0%
第3学年	95%	45%	50%	5%	0%	0%
第2学年	89%	45%	44%	9%	2%	0%
第1学年	94%	60%	34%	4%	2%	0%

「総合的に判断して、お子様が附属中に入学してよかったですか。」

保護者 95%

	A+B	A	B	C	D	E
全保護者	95%	72%	23%	2%	0%	3%
第3学年	94%	73%	21%	4%	0%	1%
第2学年	96%	74%	22%	0%	0%	4%
第1学年	95%	69%	26%	1%	0%	3%

7 学校評議員による評価

学校運営や教育活動を改善し、学校・家庭・地域が連携協力して生徒の健やかな成長を図ることを目的として、令和8年2月25日（木）に学校評議員会を開催した。学校評議員（5名）による評価（アンケート結果）及び御意見・御助言は以下のとおりである。

【アンケート結果】

※4件法（よい・だいたいよい・あまりよくない・よくない）による評価

○取組状況全般について よい（100%）

○各項目について

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| (1) 学習指導 | よい（100%） | |
| (2) 特別活動 | よい（80%） | だいたいよい（20%） |
| (3) 人権教育 | よい（60%） | だいたいよい（40%） |
| (4) 挑戦の機会 | よい（80%） | だいたいよい（20%） |
| (5) 管理・運営 | よい（80%） | だいたいよい（20%） |
| (6) 総合評価 | よい（100%） | |

【御意見・御助言等】

<学習指導・特別活動等について>

- 効果的な家庭学習について、研究してほしい。
- 学校行事や研究協議会で生徒の様子を参観したが、よく育っている。
- 研究発表会のときだけでなく、通常の授業から子どもが主体となった授業が展開されている。また、学校行事も生徒による運営がなされており、生徒自身も肯定的な回答が多い。
- 欲を言えば、学習以外の面（人としてのふるまい方等）で学校が（子どもにとって）学び合う仲間同士の社会になっているか、そのことが実感できるとよい。ぜひ調査をしてほしい。

△人権教育においては、障害のある人についての取組も大切にしてほしい。

△社会の荒波を乗り越えるため、「たくましさ」や「心の強さ」等を身につけさせることが大切である。

<管理運営等について>

- Instagramによる発信で、保護者は学校での出来事をつぶさに知ることができており、受検者の増加にも影響していると思うので、運用には用心しながら続けてほしい。
- 施設・設備の充実については、整備・改善した内容を周知することで保護者への理解向上につなげてほしい。
- △世の中は環境が十分でないことのほうが多く、その中でも個性を発揮し工夫できる力を育てるという視点も重要である。